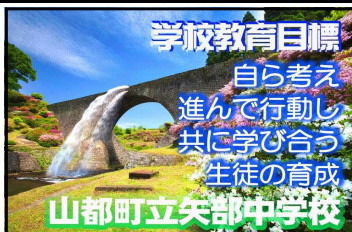




# 虹の架け橋

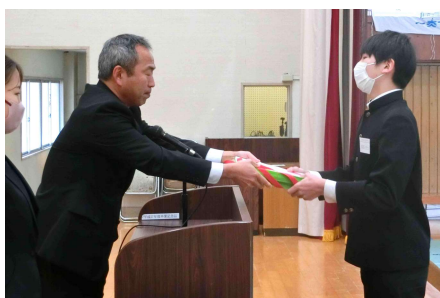


## 感動と感謝の気持ちあふれる卒業式に

公立高校の後期選抜入試も終わり、いよいよ卒業式を明日に控え、それぞれの学年で卒業式を成功させようという気持ちが高まっています。

そのような中、本日は3年生の修了式を行いました。

澤田烈士さんと小野琥太郎さんが代表で修了証を受け取り、藤本吉乃さんが最後の発表を行いました。修了証は3年生での学びの修了と同時に、中学校3年間、義務教育9年間の完了を意味します。これまでの学びを振り返ると同時に修了証を見せながら、家族へ何らか



の形で感謝の気持ちを表してほしいと伝えています。

明日の卒業式においても同様です。一人一人が胸を張って堂々と卒業していく姿を期待します。そして、その姿を通して保護者、在校生、お世話になった先生方へ感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。入退場、返事、卒業証書授与、歌と表現する機会はわずかですが、一つ一つのことを精一杯行って、感動と感謝の気持ちがあふれる卒業式になることを願っています。

3年生保護者の皆様、これまで中学校に対し、ご理解とご支援をいただき大変ありがとうございました。今後とも中学校を温かく見守ってください。

### 矢部中生の栄光

<第22回くまもと・子どもの美術展>

特選：3年 白根 優  
藤本 吉乃 山崎 智也



工作展入賞作品

<上益城郡小・中学校工作・焼き物展>

入選：1年 吉山 璃都 西山 美月  
2年 東 麻央 藤川ひかる



## 善意の気持ちが形となって

先日、能登市立町野小学校の校長先生から1通の手紙が届きました。内容は以下に示していますが、以前生徒会が中心となって送った義援金のお礼でした。

町野小学校は、地震の被害を受けて児童数が減り、また、その後の水害で校舎が浸水して使用できなくなり、隣町の小学校に避難していることが分かりました。義援金が自由に使えるように直接町野小学校宛てで送付しましたが、有効に使っていただけてうれしく思います。そして何より「いつかは誰かの力になれる人になろう」という助け合いの気持ちが町野小学校の子どもたちにも伝わっていることが、今回義援金を送るにあたって意義のある取組であったことを表していると感じました。

生徒会においてもボランティア活動を大切にして、何らかの形で社会に貢献できるような取組を行っていききたいと思います。

手紙の原文はコピーして、教室掲示しています。ご協力いただいたご家庭にもお礼をと思い、お伝えしました。本当にありがとうございました。

(前略)

みなさんからいただいた美しい応援旗は、石原凛さんからのお手紙と共に、子どもたちが毎日目にする階段の踊り場に今も掲げさせていただいています。そして、皆さんが募金してとけてくださった義援金は、子どもたちの秋の遠足代として使わせていただきました。ありがとうございました。

報道でご存知の生徒さんもいらっしゃるかと思いますが、本校は9月21日の奥能登豪雨で地震を上回る大きな被災となり、校舎1階が浸水して使えなくなりました。そのため、最も近くにある能登町立柳田小学校へ市町の境を超えて通学をしています。

(中略)

かつて大きな災害でつらい思いをされた熊本の皆さんが、こうして能登の被災地を応援してくださったことは、これまで支援される一方だった町野の子どもたちに「いつか自分たちも誰かの力になり支えてあげられる人になろう」という心を教えるよい機会になりました。本当にありがとうございました。皆さんの温かい心と行動力に心から感謝いたします。

令和6年度もあとわずかとなりました。皆さんのご健康とご活躍を心から応援しています。3年生の皆さんの新しい門出、明るい未来に幸あれと祈ります。

令和7年2月18日

町野小学校長

(氏名略)